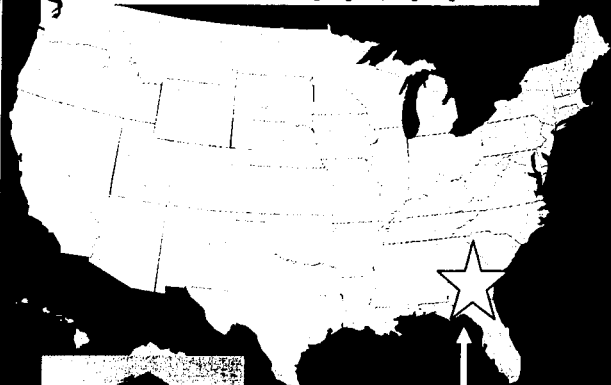


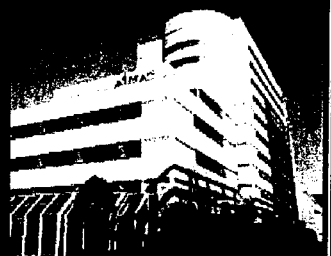
AFLAC米国本社



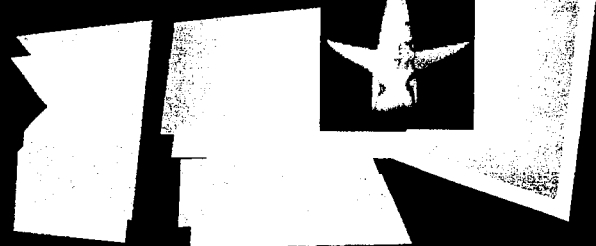
ジョージア州
コロンバス

米国本社創業：1955年11月

AFLAC日本社



日本社創業：1974年10月



がん保険



ポール S.エイモス
 ジョン B.エイモス
 ウィリアム L. エイモス



【最高顧問】
 大竹美喜

生きるため
 の保険

松井秀文

「がん保険？」
 縁起でもないことを
 口にするな！



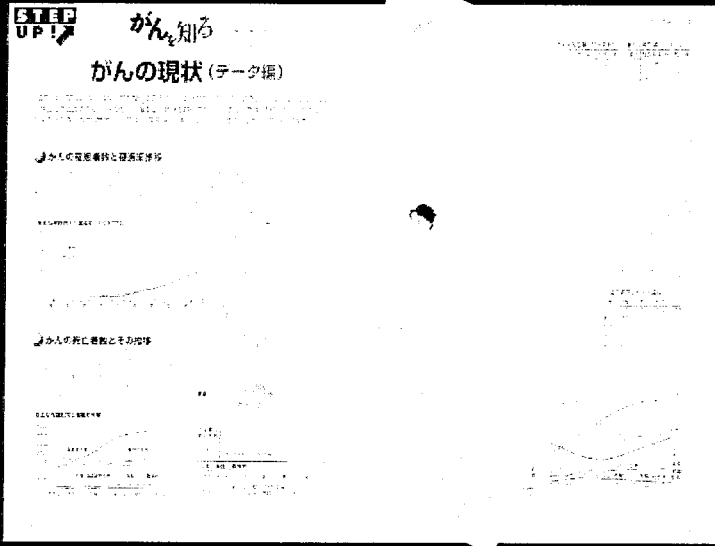
「がん保険？」
 聞いたことないなあ。
 銃で撃たれた時の
 ための保険？



クローズアップがん(映像配信)

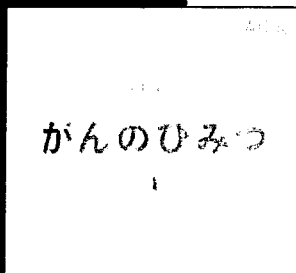
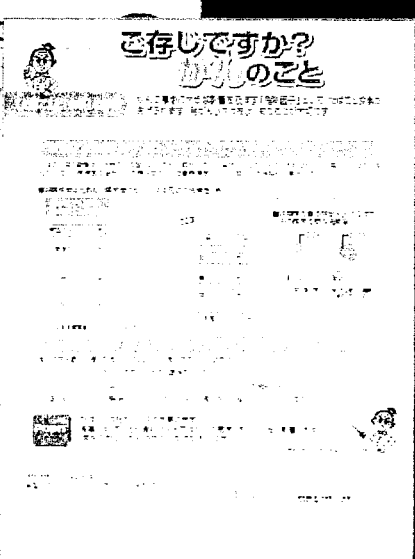
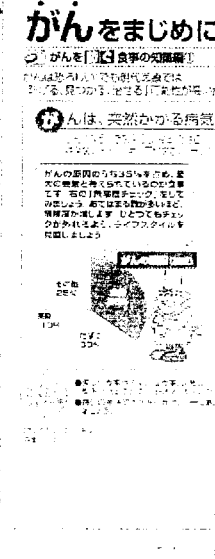
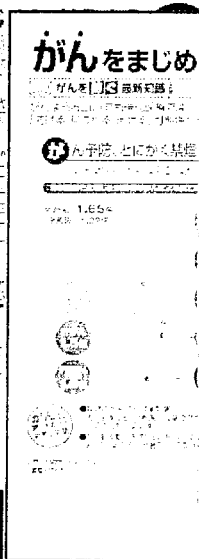
がんを知る2007~2008(アソシエイツ向け情報誌)

がん経験者・専門家による講演



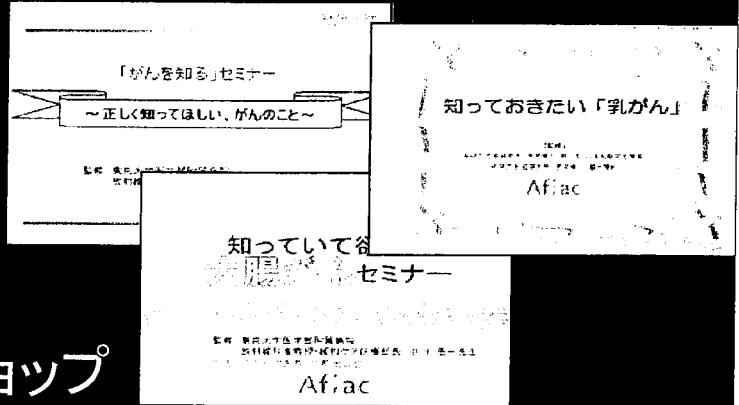
アソシエイツを通じた啓発・情報提供

がん啓発チラシ・冊子の提供

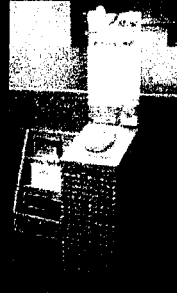
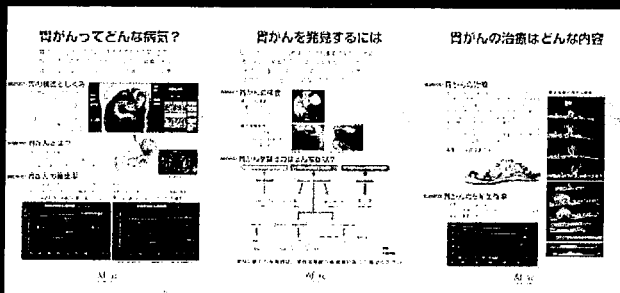


がんに関するセミナー・プログラムの開発

- ・「がんを知る」セミナー
- ・乳がんセミナー
- ・大腸がんセミナー



アフラックサービスショップ 「ミニがん展ポスター」「乳がん検診モデル」設置



時代の変化に応じたがん保険の開発と普及

1950年代~70年代	ニーズの変化	がん保険の変化	がん保険保有件数
<ul style="list-style-type: none"> ●主要な死因が、感染症から成人病へ ●PET第一号機が設置される(1979年) 	<p>がん治療への関心が高まる</p>	<p>がん保険発売(1974年)</p> <p>新がん保険発売(1978年)</p>	<p>約127万件 (1978年3月末)</p>
<p>1980年代</p> <ul style="list-style-type: none"> ●がん死亡が脳卒中を抜いて日本人の死因第1位となる(1981年) 出典:厚生労働省「平成19年人口動態統計」 <p>健康保険法改正(1984年)本人負担1割</p>	<p>がん診断時の一時金ニーズ</p> <p>入院治療のニーズ</p>	<p>スーパーがん保険発売(1990年)</p>	<p>約543万件 (1987年3月末)</p>
<p>1990年代</p> <ul style="list-style-type: none"> ●医療費の増加 出典:厚生労働省「国民医療費の概況」 ●がん5年生存率向上 出典:国立がん研究センター「がんの統計'05」 ●健保組合 赤字組合の急増 ●成人病の名称を生活習慣病へ変更(予防を意識した取り組みが始まる) ●高齢者の患者数増える 出典:厚生労働省「患者調査」 <p>健康保険法改正(1997年)本人負担2割</p>	<p>高額時保障の充実ニーズ</p> <p>医療保険全般へのニーズ</p>	<p>スーパーがん保険II型発売(1997年)</p> <p>健康応援団MAX(1998年) 特約MAX発売(1998年)</p>	<p>約1,054万件 (1993年3月末)</p>

2000年代

健康保険法改正(2003年)本人負担3割

- がん治療方法の多様化
- がん予防への関心が高まる

がん対策基本法施行(2007年)

- がん罹患後の問題意識が高まる

遠隔治療の
支那コース

上原内新生物の
保障コース

がん予防
のコース

がん罹患後の
経済的・精神的
ケアへのコース

21世紀がん保険発売(2000年)

約1,351万件
(2000年3月末)

特約MAX21発売(2000年)
究極PACK発売(2000年)

21世紀がん保険
メディカルチェックプラス発売(2005年)

朝日がんワカデモ(2007年)

約1,401万件
(2007年3月末)

変わるもの

- 国の<がん>に対する姿勢
- 医療技術

変わらないもの

- 患者と家族の不安
- 治療にはお金がかかる

直接的な啓発・情報提供

- 「がん」を知る総合展(2004年～)
- 朝日がんセミナー(1988年～)
- 大阪がんフォーラム(2006年～)
- 巡回セミナー(2009年～)
- 「アフラックスコープ」



テレビCM アブラックストーリーをシリーズ展開

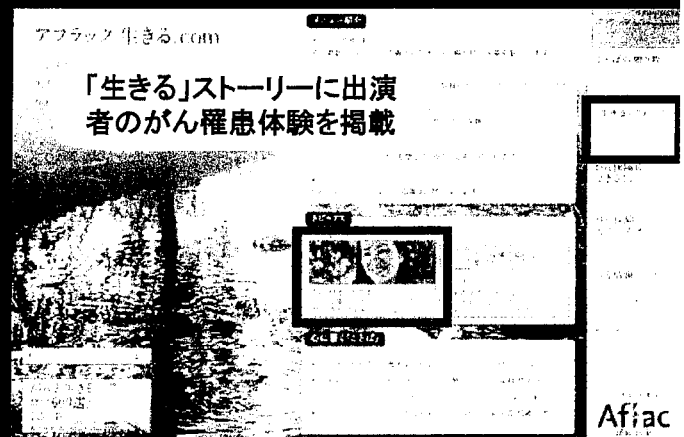


がんを乗り越えたオリンピックスケーターに
氷の上のプロポーズが待っていた

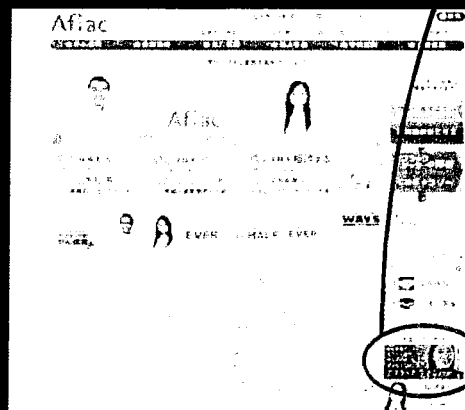


がん啓発サイト「アブラック生きる.COM」への導線

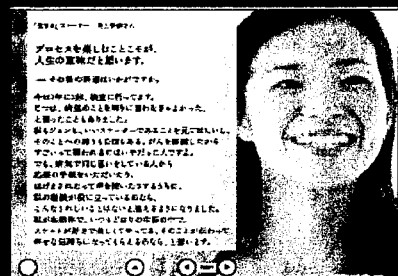
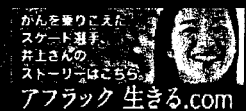
テレビ



ネット



バナーをクリック!

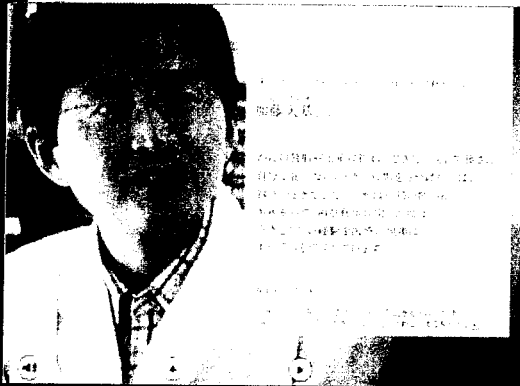


「生きる」ストーリー

がん経験者の生の声「生きる」ストーリー



がん経験者のインタビュー記事を掲載



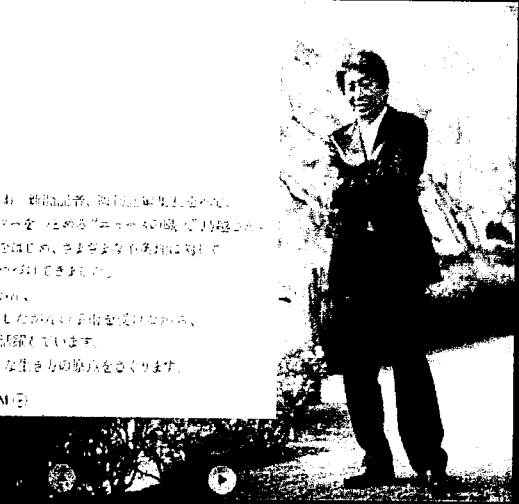
鳥越俊太郎

1916年福岡生まれ。雑誌記者、新聞記者として、報道記者のキャリアをとりつづける。『アサヒ』の記者として、イライ・イキの戦中生活の、さまざまな出来事は毎日、筆を執った取材をこなしてきた。

65歳のときに高熱が、その後、肺に転移しながらの手術を受けたが、今も現役で活動中である。

そのエッセンス、な生き方の原点をさぐります。

GOBERNOR.COM



小児がん経験者・猿渡瞳さん「命を見つめて」の動画掲載

動画は全国小中高学校では「命の授業」の教材に！



「命を見つめて」
田原中学校2年 猿渡 瞳



「がんと生きるコツ」

Affac

アフラックのがん保険

がん保険改善ライブラリー

「お母さんのマッサージとお姉ちゃんのおっぱい押し」

がんと生きるコツ600選

社会貢献活動



アフラックキッズサポートシステム

公益信託アフラックがん遺児奨学基金
アフラックペアレンツハウス

ボランティア活動

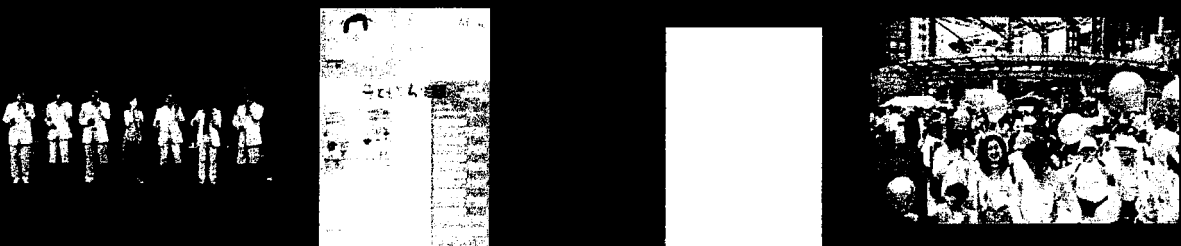
バレンタイン献血
募金活動

チャリティーイベント

チャリティーコンサート
小児がんの子どもたちの絵画展

ゴールドリボン活動

小児がん経験者を支援する
ゴールドリボン活動



相談など

がん電話相談

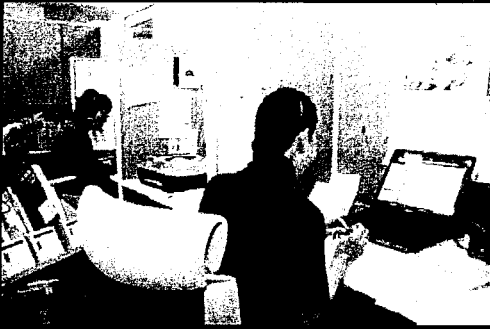
がん相談ホットライン

プレミアサポート(訪問面談による心のケア)

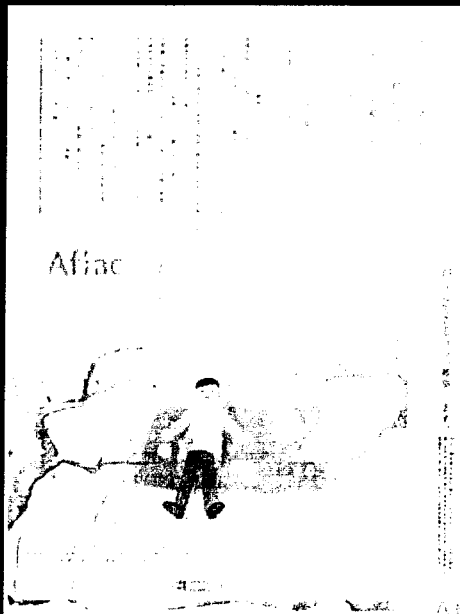
健康医療相談サービス

女性のための医療情報サービス

人間ドック/PET検診予約サービス



アフラックがお伝えしたいメッセージと思い



がんは、罹らないことが一番です。

でも、2人に1人ががんにかかると言われ、2人に1人ががんを克服できる時代です。

例え、がんにかかっても、自分らしい人生を歩んでいただきたい。

そのためにも経済的な心配をすることなく治療を選び、専念していただきたい。

少しでもストレスのない生活を送っていただきたい。

これがアフラックの思いです。

